

# 清藤大輔医師による「介護医学」連続講座

**大阪**

**国労大阪会館** (地下会議室 or 第二小会議室)

(大阪府大阪市北区錦町 2-2)  
☆JR「天満」駅より徒歩2分、  
地下鉄「扇町」駅4番出口より徒歩3分

**講師**  
・**清藤大輔**  
きよふし だいすけ



大河内記念病院・院長／医師  
1994年、熊本大学医学部卒。  
仙台市での在宅ホスピス勤務  
医を経て、2003年より11年間、  
老健施設の施設医を務める。  
2014年より介護老人保健施設  
・志木瑞穂の里副施設長、20  
15年より施設長。2018年、同  
施設退任後、ういずクリニック  
新横浜・院長を経て、2018年  
12月より現職。

第①回 2020年 第②回

1月12日(日) 1月13日(月) 祝

時間 10:30 ~ 16:00 (各回共通)

## 高年齢者と病気の医学知識

### 【高齢者の病気の特徴】

あいまいな訴え、はっきりしない症状／多臓器に病気／廃用症候群と老年症候群／多剤併用による副作用や病気／検査値のバラつき／社会的背景がきっかけとなる病気／病気の予後が若年者と異なる／脱水はあらゆる病気を真似する／高齢者の病状管理の方程式

### 【症状から読み取れる見逃せない病気】

発熱がある／意識障害がある・意識が消失する／けいれんがある／食欲がない／嘔気・嘔吐がある／誤嚥がある／むくみがある／動機や息切れがする／尿の量が少ない／なんとなくおかしい、落ち着きがない

### 【慢性疾患の管理とアセスメント】

①肺炎・誤嚥性肺炎／②COPD／③慢性心不全／④慢性腎不全 (CKD)／⑤肝不全／⑥パーキンソン症候群／⑦便秘・イレウス／⑧糖尿病／⑨薬を減らすケア／⑩自然排便の8原則ケア／⑪入浴時・食事時・排泄時の注意点／⑫入院を減らすケア

### 【注意が必要な薬の知識】

安全な薬物療法の9原則／副作用と薬物有害事象／認知症薬、向精神薬の考え方と使い方／副作用のサイン(めまいやふらつき、傾眠傾向、手のふるえ、転倒、不穏な行動)

第①回  
1/12  
(日)

## 急変時の介護医学

### 【急変の早期発見と早期対応】

急変とはどういう事態か／なぜ急変するのか／急変は予防できるか／慢性疾患の急性増悪／急変のリスク因子／事故防止の3つのレベル／救急車が来るまでにすべきこと／まずは脱水を疑う／発熱を見たら？／薬と急変

### 【2つ以上の症状の危険な組み合わせ】

意識レベルの低下+(呼吸器症状、むくみ・息切れ、血圧上昇、手足の麻痺、冷汗、血圧低下)／頭痛+(嘔吐、首の痛み)／38度以上の発熱+(脈90以上、血圧低下、低血糖、腎機能低下)／入浴後+めまい／多量の排便+意識障害

### 【急変時のサインと緊急性の高い症状】

バイタルサインのバニック値、症状がどんどん悪くなる、急な体調変化・ADL低下、手足のしびれ、突然の激しい頭痛・食欲不振・胸痛・腹痛、便の色の異常、嘔吐、けが・骨折、薬の処方が変わった後の新規症状

### 【急変時の症状別対応】

高熱／誤嚥・窒息／呼吸困難／意識障害／けいれん・てんかん／激しい頭・胸・腹痛／吐血・下血／骨折／やけど／鼻出血／低血糖発作と症状／入浴時の高血圧と急変

第②回  
1/13  
(月)

\*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合がございます。

\*連続で受講される方は、初回到2回分の受講料をいただきます。

連続受講の場合、受講者の変更が可能です

**受講料** \*当日会場  
で承ります **1回 7,000円**

**2回連続 (①②) 12,000円**

**主催**

**なるほどケア塾**

お問い合わせ

〒189-0011

☎042-306-3771

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榎円窓社内

**お申し込みはこちらへ Fax**

**Fax : 042-306-3772**

< 参加人数 >

< 参加者名 > *施設の場合は施設名もご記入ください。	① 1/12 ( )名	2 回 連 続 ① ② ( )名
< 住所 >〒 (自宅・職場)	② 1/13 ( )名	
< TEL >	< FAX >	